

2019年度 町田市病院事業会計決算概要

1 決算の概況

○ 2019年度の病院事業会計決算は、総収益が135億8,100万円、総費用が138億5,500万円となり、2億7,400万円の純損失となった。

(単位:百万円)

	2019年度	2018年度	対前年比
総収益 A	13,581	13,336	245
経常収益 C	13,551	13,313	238
医業収益 E	12,025	11,809	216
医業外収益	1,526	1,503	23
特別利益 G	30	23	7
総費用 B	13,855	13,504	351
経常費用 D	13,791	13,459	332
医業費用 F	13,045	12,771	274
医業外費用	745	687	58
特別損失 H	64	46	18
医業収支 E-F	▲1,020	▲962	▲58
経常収支 C-D	▲240	▲146	▲94
特別損益 G-H	▲34	▲23	▲11
総収支 A-B	▲273	▲169	▲104

入院の状況

	2019年度	2018年度	対前年比
入院収益(百万円)	8,126	7,848	278
延入院患者数(人)	127,406	128,002	▲596
平均在院日数(日)	10.9	10.9	0.0
診療単価(円)	63,778	61,311	2,467
病床利用率(%)	77.9	78.5	▲0.6

外来の状況

	2019年度	2018年度	対前年比
外来収益(百万円)	3,211	3,235	▲24
延外来患者数(人)	261,405	274,809	▲13,404
一日平均患者数(人)	1,084.7	1,126.3	▲41.6
診療単価(円)	12,282	11,771	511

※表内の数値は端数を持っているため、合計が一致しない場合があります。

2 収益の状況

- ・入院収益は、新たな施設基準の取得等により2億7,800万円増加した。
- ・外来収益は、単価は上昇したものの、患者数が減少したため2,400万円減少した。

(単位:百万円)

	2019年度	2018年度	対前年比
医業収益	12,025	11,809	216
入院収益	8,126	7,848	278
外来収益	3,211	3,235	▲24
負担金交付金	371	391	▲20
その他医業収益	318	335	▲17
医業外収益	1,526	1,503	23
受取利息配当金	1	1	0
国庫補助金	7	7	0
都補助金	586	590	▲4
負担金交付金	727	709	18
長期前受金戻入	75	74	1
その他医業外収益	130	122	8
特別利益	30	23	7
合計	13,581	13,336	245

主な増減要因

新たな施設基準の取得による増加
患者数の減少
救急医療にかかる必要額の減少

小児医療にかかる必要額の増加

3 費用の状況

- ・給与費は、賞与引当金繰入額の増、臨時医師の増等により7,500万円増加した。
- ・材料費は、先発医薬品購入による薬品費の増、手術件数の増加による診療材料費の増等により、1億6,600万円増加した。
- ・経費は、人件費の高騰による委託料の増、施設・設備修繕費の増等により、6,600万円増加した。
- ・減価償却費は、医療機器の減価償却費が減少したことなどにより2,200万円減少した。

(単位:百万円)

	2019年度	2018年度	対前年比
医業費用	13,047	12,771	276
給与費	7,341	7,266	75
材料費	2,783	2,617	166
経費	1,980	1,914	66
減価償却費	912	934	▲22
長期前払消費税勘定償却	0	6	皆減
資産減耗費	5	7	▲2
研究研修費	26	27	▲1
医業外費用	745	687	58
特別損失	64	46	18
合計	13,855	13,504	351

主な増減要因

賞与引当金繰入額+31、賃金+44
薬品費+82、診療材料費+79
修繕費+36、委託料+42、光熱水費▲15
器械備品減価償却▲18
総合情報システムの償却終了

雑損失(消費税等)+78、企業債利息▲13
診療報酬査定減の増加

4 資本的収支の状況

(単位:百万円)

	2019年度	2018年度	対前年比
資本的収入	79	87	▲8
企業債	-	-	-
都補助金	79	87	▲8
資本的支出	914	827	87
建設改良費	190	117	73
企業債償還金	724	710	14
差引	▲835	▲740	▲95

主な建設改良費

【病理検査室】
病理業務支援システム 26
【栄養科】
温冷配膳車 18

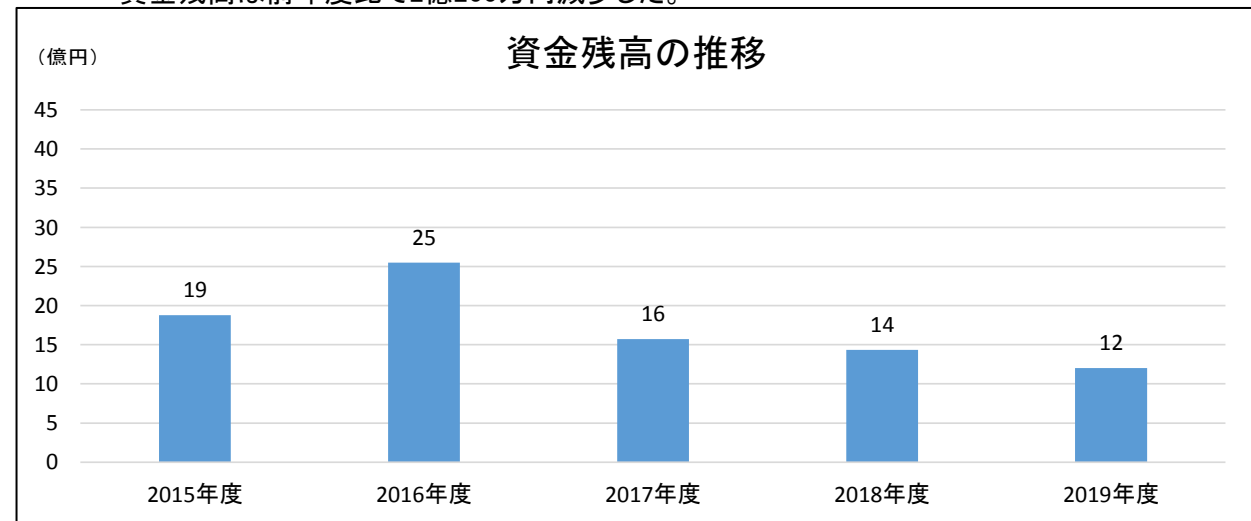
5 貸借対照表

(単位:百万円)

	2019年度	2018年度	対前年比		2019年度	2018年度	対前年比
土地	1,472	1,472	0	企業債	9,806	10,566	▲760
建物	8,743	9,300	▲557	リース債務	0	1	皆減
器械備品	803	988	▲185	退職給付引当金	2,321	2,218	103
車両運搬具	-	-	-	固定負債計	12,127	12,785	▲658
リース資産	1	8	▲7	企業債	760	723	37
電話加入権	3	3	0	リース債務	1	8	▲7
敷金	2	3	▲1	未払金	722	796	▲74
投資有価証券	100	100	0	預り金	59	75	▲16
				引当金	429	390	39
固定資産計	11,124	11,874	▲750	流動負債計	1,971	1,992	▲21
現金預金	1,130	1,332	▲202	繰延収益計	385	404	▲19
未収金	1,970	1,989	▲19	負債合計	14,483	15,181	▲698
貸倒引当金	▲4	▲4	0	資本金計	4,305	4,305	0
貯蔵品	45	45	0	剰余金計	▲4,520	▲4,247	▲273
前払金	2	2	0	資本合計	▲215	58	▲273
流動資産計	3,143	3,364	▲221	負債資本合計	14,267	15,238	▲971
資産合計	14,267	15,238	▲971				

6 資金残高の推移

- ・材料費や給与費等の増に伴う医業費用の増加、備品の老朽化に伴う備品購入費の増加等により、資金残高は前年度比で2億200万円減少した。



※ 資金残高は、現金預金に譲渡性預金と有価証券を加えたものである。
※ 2016年度の資金残高には、自家発電設備更新工事の企業債発行に伴う資金5億5,700万円が含まれている。